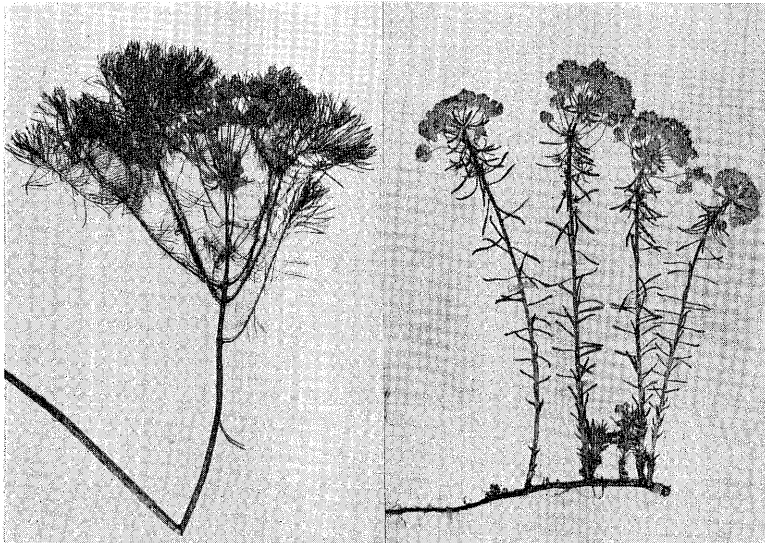


○イトスギトウダイと新称する植物 (久内清孝) Kiyotaka HISAUCHI: *Euphorbia cyparissias* L. in Japanese garden and new Japanese name for it

ここに提出した写真の植物をかなり長い間栽培していたが、その間この草の名を幾人かの人にきかれた。そうして、その度ごとによいかげんな答をしておいた。いづれ調べれば判ると信じ、今まで、そのままにしておいたが、思い出したのが吉日とばかり、当って見たら直ぐわかった。すなわち、欧州産の *Euphorbia cyparissias* L. 英名 Cypress spurge に該当するものである。私は 10 年も前からもっているが、いまだに和名が見あたらない。よって英名にちなみ、一応イトスギトウダイと呼ぶことにした。実はハギクソウとかタイゲキとかいう字をおりこんだ名にしたかったし、また日本人向にはイトスギというような縁遠い名は好ましくないと思ったが、なるべく近代人にわかるようにと思いきんな名をつけた。もし属名を *Tithymalus* とする方がよいというなら *Tithymalus cyparissias* Scop. を使用することにしたらよいと思うが、その場合には、命名者が文献により一様でないから、ここでは一応 Hegi にしたがっておくことにした。いづれにしても同一物を指すのだから、ものには変りはない。なにはともあれ、この草は丈夫な草だからにげ出してどこかに姿を現すかも知れない。

夏から秋にかけて plume-like branches from the crowns を出し、moss-like growth をするという表現にふさはしい。しかし降霜と同時に地上部は枯死する。

(東邦大学薬学部)



Euphorbia cyparissias. Left in summer $\times 2.4$. Right in spring $\times 8$.